

豚熱（CSF）の防疫措置状況と今後の対策について

農政部農政課

1 農場の概要

所在地：前橋市内農場

飼養状況：豚 約 3, 900 頭（関連農場含む）

殺処分頭数：3, 482 頭（10月24日15時現在）

2 経過

- 10月18日（月）20:50 当該農場より県へ通報、中部家畜保健衛生所が立入
19日（火）0:30 県家畜衛生研究所で検査開始
12:55 県によるPCR検査で発生を疑う結果
17:00 前橋市特定家畜伝染病対策本部会議開催
20:15 国の検査機関確定検査で豚熱患者確定
20日（水）7:00 防疫措置（殺処分）を開始
10:30 県知事記者会見
19:00 地区住民説明会（粕川公民館）
26日（火） 殺処分終了予定

3 現地事務所の設置

J A前橋市粕川町農業多目的研修施設（粕川町女淵170）

4 埋却地及び選定理由

粕川町女淵地内

出来る限り農場に近く、農場主が所有する土地の中から、水源の問題等を勘案したうえで試掘調査を行い、候補地の中から最適地として選定

5 殺処分頭数及び市職員動員（現地事務所、農場併設テント、通学路見守り、健康観察、消毒ポイント給水等）の状況

	10/20（水）	21（木）	22（金）	23（土）	24（日）	25（月）	計
殺処分頭数	506	730	947	915	384		3,482
市職員動員数	7	15	18	14	12	19	85

6 今後の対策（群馬県や関係機関と連携し対応）

- (1) 市内での豚熱発生防止対策（概要は裏面のとおり）
- (2) 消費者等への正確な情報提供
- (3) 埋却地やその周辺での環境対策等

令和3年度前橋市豚熱再発防止緊急対策追加事業

市内で発生した豚熱の再発防止のため、下記の緊急対策を実施する。

[予算額1700万円]

1 車両消毒用マットの配布

家畜運搬車、飼料配給車等の車両のタイヤ等に付着した菌が感染源となる可能性があるため、車両消毒用のマットを購入し養豚農家に配布する。

2 緩衝帯の設置

イノシシ等の有害鳥獣が生息しやすい森林の下草を伐採する。(約10ha)

3 狩猟捕獲金の増額等

豚熱の主な感染源である野生イノシシの個体数削減のため、狩猟期の捕獲奨励金について令和3年度に限り有害捕獲奨励金と同額に増額する。

狩猟期の銃による捕獲(市単) 1万円(補正前) → 2万円

4 消毒資材の追加配布

消石灰、ロンテクト等の消毒資材の無償配布年4回を5回に増加し、野鼠対策として捕獲用粘着シート等を追加する。

※本事業は、本年5月に議決となった緊急対策事業(予算額1億円)に追加して実施するものです。